

事務事業評価

令和3年度

担当課 都市整備課

基本事項	事務事業名	街なみ環境整備事業					整理番号	1804
	根拠法令等	島原市街なみ環境整備事業補助金交付要綱			実施を義務付ける規定		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	目標	基本目標1 自然と歴史、都市の魅力が調和したまちづくり	予算科目	8 款	5 項	5 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規
		施策	施策1-1 自然と歴史、都市機能が調和するまち	事業区分	その他			

事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	平成6年、地域住民や行政等との協働の中で島原中心市街地の活性化に向けた街づくり推進協議会を発足。平成7年度からは、「街なみ環境整備事業」として、「歴史や湧水」、「城下町」等の地域景観に配慮したまちづくりを推進している。 課題として、個人修景助成である為、個人負担が伴うので希望者が少なく目標と通りの取組ができない。				計画期間	始期	平成	7	年度から
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	島原中心市街地の整備対象となっている区域内で、景観を配慮した建造物等の修景工事を通じたまちづくりを目指し、点から線、線から面へと拡がる景観形成に対する助成を行うことで、歴史を活かしたまちづくりを進める。 また、新たに協定地区に追加した鉄砲町まちづくり協定地区において、重点的に事業推進を図る。通りや空間に彩りをもたらす効果により、観光振興や商店街の活性化へと繋げていきたい。								
	目的達成のための 具体的手段・方法	地域住民、町内会を通じた制度の周知、意向調査や予算化を図る取組みを行っている。また、武家屋敷や商家筋などの伝統的建造物の保全、整備により、長期的、継続的に事業を推進し、街なみ環境の整備を図る。 修景内容については、外部からの専門家等を含めた評価委員会により審査を行い、事業効果の向上を図っている。								
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名称等(内容)		単位	1年度	2年度	3年度			
		①協定地区内の建築物等に対する修景助成累計件数 (当該事業は、都市再生整備計画事業「第3期島原市中心市街地地区」の基幹事業として位置づけており、令和4年度に予定している都市再生整備計画事業の事後評価時に、アンケート調査等を行なう予定。)	目標	累計件数		100	100	100		
実績			累計件数		80	80				
達成率	%			80.0	80.0	0.0				
活動指標 (目的達成のために 行った活動実績)	①協定地区に対する説明会を開催し制度周知、修景予定案件の調査	目標	回	1	1	1				
		実績	回	1	1					
		目標								
	②	実績								

事業費等の推移	年度		29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画
	①直接事業費(千円)		2,500	2,500	0	0	2,500	2,500
	財源内訳	国県支出金	1,000	1,000			1,000	1,000
		地方債						
		その他						
		一般財源	1,500	1,500	0	0	1,500	1,500
	②従事職員給与費 b1×b2		302	307	0	0	303	303
	従事職員数(人) b1		0.04	0.04	0.00	0.00	0.04	0.04
	職員平均人件費 b2		7,546	7,663	7,530	7,563	7,563	7,563
事業費合計 ①+②		2,802	2,807	0	0	2,803	2,803	

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている 令和2年度は、武家屋敷を含む鉄砲町地区を新たな協定地区として追加しており、効果が期待されている。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 建物を保存するにあたり、景観も配慮する事から困難である。また、社交金事業でもあり、一定レベルでの精度が求められる。	A
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 協定書による修景基準があり、時代変化の影響はあまり受けるものではない。	A
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 時間は要しているが、目的に沿った事業展開には繋がっている。	B
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 建物を整備する方の意向もあり、対象地区への周知のみしかなくが事務執行について、工夫を重ねる事は効果の向上に繋がる。	B
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 活動結果については、一定の評価は得られていると考えている。	A
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 件数の増加と、仕様や質の向上で、より合理的な手法は考えられるであろう。	B
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 施主、協定地区委員会、評価委員会、設計施工業者、県との協議を行っており、概ね適切と考えている。	A
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 協定地区内でも助成を受ける方と、申請が困難な方もいる。受益者の負担割合は適切なものか、いろいろな意見はある。	B
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか	A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	B
<b>判定評点平均（3点満点）</b>			<b>2.50</b>
A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			

◎ 総合自己評価（所管部署）	
評価結果	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)

判断理由  
・本業務は、島原市街なみ環境整備方針に基づき、市の象徴である湧水と城下町の歴史を活かした街なみ景観を整備保存する為の目的でもあり、観光振興にも繋がるもので、景観的に無秩序な建物を建てさせないためにも、必要と判断する。

今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等) ・各協定地区において、外壁の色等の数値的基準が無く統一感が図られていないため、マニュアルづくりを進める必要がある。
<small>・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載してください。          ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載してください。</small>	

【2次評価】

総合判定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善
備考	「歴史や湧水」、「城下町」等の地域景観に配慮したまちづくりに、一定程度効果を発揮しており、今後は、さらに景観効果・地区の統一感を高めるため、外壁の色等数値的基準の整備を図ってほしい。

【3次評価】

総合判定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知活動と併せて意向調査を行うことで、協定地区内の動向の把握に努め、次年度の予算や今後の計画に反映していただきたい。</li> <li>・デザイン及び色彩のマニュアルを整備し街なみ全体の基準を図られたい。</li> <li>・他の類似制度との混乱が無いよう、棲み分けをわかりやすい方法で整理し周知を図られたい。</li> </ul>

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input checked="" type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	